

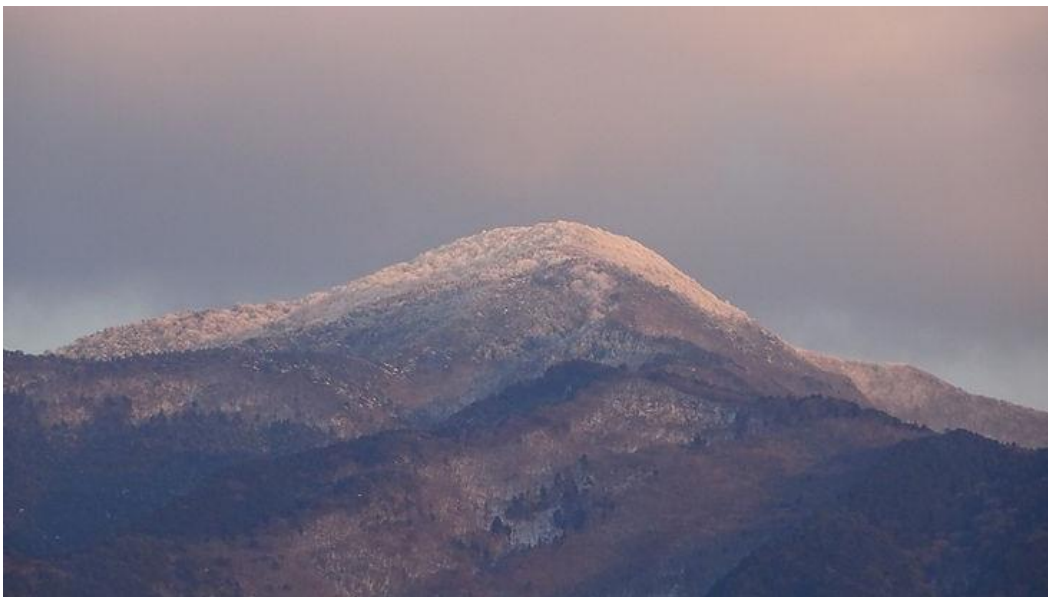


NOANOSATO 野愛の里 2022



自然栽培農園【2022】

<1月～3月> 畑の準備



畑から雪の赤星山
／ 1453m
(昔、瀬戸内海を航行中の船が嵐に会って、難波しそうになった時、この山から赤い星が飛んで来て、船の航路を導いて救ったという伝説があります。)



新しい仲間 クボタ「菜ビ」(3馬力、重さ50kg)
クボタ、ヤンマー、イセキ……機能も様々、色々検討した結果、折りたたんで車にも積める小型機を購入しました。



○アピオス畑のウネ立て



冬季に枯れた雑草をレーキで集めた後、耕運。
小型なので何辺か往復、アピオス畑のウネ整形、集めた枯草で草マルチにする。

○ニンニクとタマネギの成長状態、夕方の三日月、サル出現

昨年10月に植えて5か月、肥料、消毒なし、元気に育っている。サルが3匹ほど飛び跳ね、フェンスに座りみかんを食べている。





30年以上放置されていたキウイの枝をバツサリ剪定、棚兼休憩所を作りました。さて、実は成るだろうか。



後に、強風でトタンは吹っ飛び、支柱は斜めのままキウイが伸びていった。

畑では大地に足をなじませる。時々空を見上げる。風の妖精がそばにいる。UFOは見えない。

○ヤーコン畑の準備

昨年良く育って球根が増えたので、休耕地を耕運。ウネ立て、草マルチ



(こちらの休耕地は準備中)

3月末、この地方独特の「やまじ風」が吹き荒れた。台風のような風。

キウイの棚の屋根がはずれて支柱が傾いた。草マルチは散々…。

「やまじ風」は、よく春先に吹き荒れる。この地方は、1,400m級の山々が瀬戸内海のすぐ近くにそびえているので、山と海の急激な温度差によって嵐が発生するらしい。長年農業をされている方々はそのすさまじさをよく知っているので、マルチをしっかりと張ったり、突風にも堪えうる作物(サトイモ、山の芋など)をつくっている。

<4月> 春・種まき



4月始め再び雪が積もったニッ岳(1647m)と満開の桜

○アピオスの定植

畝を整備して支柱を立てる。本当は 2m くらいの支柱にしたいが、やまじ風を想定して控えめなつくり、
というか頑丈な支柱を立てる費用がない。土の中に保存しておいたアピオスを掘り起こして植える(約
千個)。大小様々、もう芽が出ている種芋もあった。



○ヤーコンの定植

土の中に保存しておいたヤーコンの株を掘り起こし、株分けして植える(約 300 個)。アンデスの雪(白
色)と乙女(紫色) 定植時の水やりは「EM1(有効微生物活性化液)」を希薄してジョロで散布。



(自然の神秘)



キャベツが龍の姿に!!

進化するキャベツの龍、花が咲き二頭となった...不思議不思議



何故 4 月にシイタケが??



いただいたアボガドの種ーはやく大きくなあれ(何年先?)



神木オガタマノキ開花、甘く清らかな香り



ローレル(月桂樹)の花満開／葉はカレーの香辛料



4 月の満月

○キュウリ、オクラ、トマト、スイカ、メロンの種まき、ネット張り

昨年自家採取したキュウリとオクラとトマトの種を植える。さあ出るかな？ 新たにスイカとメロンの種を植えて見ました。



キュウリの種



オクラの種

出雲メロン *Noguchi's Open Pollinated Seeds*

—用途—
生食用、用熱炭は洗済げなどに利用

—特徴—
果形は長楕円形の中大果で、皮は緑色、肉は赤紅色、大玉の個体は、皮が厚く、果肉は柔らかく、味は甘く、多汁、中実、肉質が緻密で、食味は上品で、種が少なく、収穫後、乾燥し、長期保存が可能である。

—栽培—
発芽適温：15℃以上(25-30℃が最適) 生育適温：15-28℃
栽培法：畝間2m株間1m、発芽後間引いて1本にし、本葉15枚で摘心し、子葉三本直立にすると株身に蔓花(両全花)が付く。孫つる結実の実に糖分多く、完熟して皮がひび割れる寸前のものがおいしい。(ハウスメロンに比べ追熟がきかないので、畑で熟してから収穫すること)

—採種法—
結実後、果実を乾燥させ、食べて出した種を乾燥する。

—種子—
種子寿命：ウリ類は比較的長寿命(4.5年)である。
休眠期：マクワウリは採種後しばらく休眠することがあるという。
種子保存：採種後水洗して日陰で乾燥し低温低湿度の場所に保管。

2021/10 発芽率 85%以上(浸漬後2日より5日以内) 採種地 奈良県
種子消毒 塩基性塩化銅・食酢浸漬各1回 種子加工 なし
種子粒数 50 粒径 1.5mm 採種人 Nara

¥314.00(税込) 〒557-0067 野口種苗研究所 小瀬戸192-1 野口種苗研究所 ☎042-972-2478
ホームページ <https://noguchiseed.com/>

新大和2号西瓜 *Noguchi's Open Pollinated Seeds*

—用途—
生食用、タネを割って食べることもできる。種を剥いて、皮を剥き、果肉を食べてもいい。種を剥き、皮を剥き、果肉を食べてもいい。種を剥き、皮を剥き、果肉を食べてもいい。

—特徴—
西瓜で、果肉は鮮紅色、大玉の個体は、皮が厚く、果肉は柔らかく、味は甘く、多汁、中実、肉質が緻密で、食味は上品で、種が少なく、収穫後、乾燥し、長期保存が可能である。

—栽培—
発芽適温：高温を好む(30℃) 生育適温：25-35℃
栽培法：畝幅2.5m、株間1.5mくらい、元肥に厩肥を施し、追肥はピンポン玉くらいに有ってから行う。原産地がアフリカの砂漠地帯なので、雨を嫌う。自根で栽培すると6年産作を嫌う。

—採種法—
熟した西瓜を追熟させ、食べて出した種を乾燥する。

—種子—
種子寿命 長命種子の代表である。(5年以上)
休眠期：ない
種子保存 乾燥した冷蔵庫で保存する。

2021/10 発芽率 80%以上(浸漬後2日より5日以内) 採種地 タイ
種子消毒 なし 種子加工 なし
種子粒数 25 粒径 2.5mm 採種人 NantoS5753

¥314.00(税込) 〒557-0067 野口種苗研究所 小瀬戸192-1 野口種苗研究所 ☎042-972-2478
ホームページ <https://noguchiseed.com/>

自然栽培の種は固定種 (野口種苗研究所で購入)



ミニトマトの種



マイクロトマトの種



自然栽培(無農薬・無肥料・無除草剤)、光と風と水と土と.....自然に育つニンニク



スイカ、メロンは有刺鉄線内の畑に少し種まき、ナイロンキャップをかぶせてみる



アピオス畑の支柱ネット張り完成、どんどん伸びてください



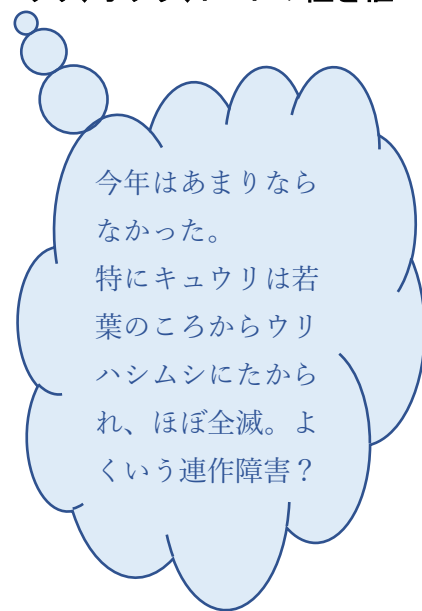
暖かくなって来た



昨年と同じ場所にキュウリ、オクラ、トマトの種を植える



やまじ風で倒れていた「豊穡の女神」復活！！



<5月> 生姜定植、芽生え、春の収穫

○生姜畑の開墾⇒畝立て⇒マルチ張り⇒定植

昨年収穫して保存していた生姜、包んでいた紙の水分が多かったせいか、ほとんど柔らかくなっていて使えるのは少しだけでした。

そこでまた、高知のお師匠さんの家に行き、種生姜を購入しました。

生姜は連作を嫌うとのことで、新たな休耕ゾーンを耕して畝を立て、マルチを張って定植しました。



マルチ張り、一人で手作業は大変です



見守るマイトレイヤーマリア(豊穡の女神)



ナビ(管理機)のタイヤの幅の関係で、畝間を広めにしている



昨年キャベツ等を植えていた区画も新たに耕うん・整備、定植



5月の満月の翌日の月
姫リンゴの実～今年は食べれるかな



キュウリ、オクラ、トマト畑

○芽生え (自家採取の種・球根類)



キュウリ



オクラ



アピオス



ヤーコン

○草取り、猿の軍団？



草取りをした後のウネ。草マルチを
していても草は旺盛。
約10種類ほどの草が生えていま
す。土の中に種子や地下茎がある
限り生えてくるようです。食べれる
草もあるらしい。何故そこに生える
のか、雑草の研究を深めたい。
除草剤をやれば草は簡単に枯れる
かもしれませんが、土は毒され、作
物にも残留してしまうので使わない
ことにしています。



網で囲い、上下に有刺鉄線を付けて
いる区画、猿が網の下の方を食いち
ぎって侵入した模様。発見時ジャガ
イモ3本抜かれて食べられていた。
穴は補修したが、その翌日、20本
全部引き抜かれていて、網が5カ所
破られていた。大勢で来たらしい。
全部食べたか持ち帰ったのか、芋は
全滅。マルチにさしていたサツマイモ
の苗もいくつか引き抜かれていた。
金網の検討。

○待ちに待ったニンニクの収穫

昨年9月末に植えたニンニクを5月下旬に収穫。(約8か月の生育／自然栽培/) 種が大きいほど大きな玉になっているようです。



5月に入って急に雑草が伸びて来ました

ニンニクの芽(トウ立ち) ねぎのガーリック風味、瑞々しい珍味



葉が枯れて来たので、天気の良い日に収穫します

手で、茎の下の方を持って引き抜いてゆきます



大小様々、きれいに出来ています。採って3時間ほど天日干し



軽く土を払い茎を30cm ほど残して葉を切り落とし
キャリーに入れる
皮は何重にもなっていて、美しい白色



一皮をはぎ、根っこを切り落として、茎を10
cm 位にしますー



根をハサミで切り落とす



茎を10cm 位残してカットする



大きささまざま、様々な大きさのニンニク



袋に入れて、産直いちに出荷しています



アニマルフェンス
後に、これも下から突破される。
土に十分埋めるか、もっと強い柵
をしなければならない。

今度こそ猿の侵入を防ぐ!?



今年はおリーブの花がいっぱい咲きました～いい香り～結実が楽しみ



<6月> 春の収穫～出荷～草取り



見たことのない2機の飛行機が
東から西へ低空飛行して行った



ビワの実、今年はずっとたくさん穫る



種から育った玉ねぎの収穫



大きいのやら小さいの、家で一年間は食べられそう



玉ねぎ三兄弟..... 収穫後は涼しい場所に干しています



咲いたニンニクの花



横や下に着いているのは？ ニンニクの子ども？



ジャンボニンニクの収穫、やっぱりデカイ



皮をむくと真っ白



少し乾燥して来たニンニク、ネットに入れ
産直市へ-----

今回は三日間で売り切れました。ありが
とうございました。

また明日出荷します。



ミニトマト



ミニトマトとショウガのウネ



キュウリの花が咲きはじめる



アピオスの花が開き出す



オクラ



ショウガ



サツマイモ 猿に荒らされた後の繕い



可憐なアピオスの花



<7月> 夏の収穫～草取り



今年のキュウリは萎縮気味



オクラ収穫間近



ミニトマトの花が咲きはじめる



大きく葉を広げるヤーコン



アピオスの花を摘んでお茶に



花に湯をかけて、レモン汁を数滴、ピンク色に



サツマイモ畑



ショウガ

<8月> 夏の収穫～出荷

今年の夏は暑すぎる。昨年よりさらに早く、8月上旬にツクツクボウシが鳴き出した。太陽フレアの増大か地軸のゆらぎか…。

【大事件!!サツマイモ全滅……】 鉄柵の下を掘って体当たりか?、猿の軍団が大侵入?

—これからお芋が大きくなっていく途中なのに 一夜の内に、サツマイモ苗150本全部抜かれていた。8mの畝6つ、端から端まできれいに掘って持ち逃げか? サツマイモ想定700個全部食べられてしまった。楽しみにしていた仲間との芋掘り、焼き芋大会が台無しに……。(以後、しばらく農作業のやる気をなくす)



●●●●●●●●



自然栽培野菜、産直市出荷中

<9月> 草刈りに追われる

ヒガンバナはいつもだと9月のお彼岸頃に咲くのに、9月1日に1本咲いているのを見た。



例年より、20日ほど早く咲くヒガンバナ。季節の流れが変わって来ている。はじめて栽培したニンニクは順調に結実し、産直市では100袋以上売れました。オクラは、9月中旬まで実っていました。昨年のマルチそのまま(しかも猿やイノシシが歩いて穴が空いた隙から草がぼうぼうの中)、そこで育ったキュウリの種を植えましたが、うまく育たず、あまり大きな実が成りませんでした。ミニトマトも茂った割に少ない収穫でした。(放任し過ぎ?)

<10月> 秋植えの準備、定植・種まき



① キュウリ畑の後、支柱をかたずけて草を刈る ② ナビで耕した後、ウネを立てる、EM液を散布する



③ 今年収穫して、保存しておいたニンニクの球根片を用意



④ マルチを張る、今年は穴の開いたマルチにしてみた。
⑤ ニンニクを植える(約1500個) + タマネギの種40粒
写真は少し芽が出た頃、早く出て来たのでびっくり

<11月> 秋の収穫、出荷



ひとやすみ／秋の紅葉を見に、大窪寺へ参拝



四国霊場第八十八番大窪寺の紅葉、約 500m 地点から



順調に育つニンニク、ほとんど芽が出て伸びてきました



マルチの穴から草も出て来たので草取り、半日かかりました



11月8日、皆既月食に入る前の満月、食が終わり.丸く見えだす途中(天王星食は肉眼では見えない)



生姜の収穫、少しずつっては洗浄し、翌日、袋に入れて出荷



自然栽培なのか大小様々です (小型重量計で測って、袋詰め)



今年はマルチなしで育った、ヤーコン、草の中



ほとんど放任栽培、強いヤーコン、花が咲く

<12月> 収穫、出荷、休耕

アピオスの収穫・出荷



ヤーコンの収穫・出荷



今年は小ぶり



ヤーコンの種イモ (保存)

2023.1 ～続く